

JILPT 調査シリーズ

No.12

2005年11月

人口減少社会における人事戦略と職業意識に関する調査

The Japan Institute
for
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



人口減少社会における人事戦略と職業意識 に関する調査

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

ま え が き

労働政策研究・研修機構では、近年の労働者の年齢構成の変化や労働力人口の減少の中における企業の雇用管理等の動きや労働者の意識を明らかにすることを目的として、2004年の12月から2005年の1月にかけて「人口減少社会における人事戦略と職業意識に関する調査」を実施した。

調査は、全国の企業10,000社とそこで働く労働者100,000人を対象とする大規模なものである。労働者調査では、仕事についてのストレスや満足感、職業生活の先行き見込み等を尋ね、企業調査では、人口減少社会の人事戦略、経営戦略、団塊の世代が定年を迎えるに際しての状況等を尋ねており、調査内容は多岐にわたっている。

本報告書は、この調査結果をとりまとめたものである。労働者調査及び企業調査の主な調査結果を図表で紹介するとともに、労働者や企業の属性別の詳細なクロス集計結果を資料として添付した。

調査にご協力いただいた皆様には、この場を借りて御礼申し上げたい。

本報告書を、関係各方面で広く活用していただければ幸いである。

2005年11月

労働政策研究・研修機構
理事長 小野 旭

目次

第1章 調査要綱	3
1 調査の趣旨	3
2 調査の概要	3
第2章 労働者調査結果	7
1 どのような人や職場で精神的ストレスを感じるか	7
2 職業生活の先行きの見込み	11
第3章 企業調査結果	17
1 人口減少社会の人事戦略、経営戦略	17
2 団塊の世代の定年	20
資料	
調査票（労働者調査）	27
調査票（企業調査）	41
付属統計表（労働者調査）	61
付属統計表（企業調査）	175

第 1 章 調査要綱